

おひさまだより



2022年3月号

社会福祉法人 尚徳福社会福祉会
生麦保育園 園長

まん延防止等重点措置が3月6日まで延長となり、それ以降のことも心配になるところですが、保育園ではそんな環境の中でも子どもたちの元気な声、笑顔に何も変わりはありません。保護者の方々には、体調不良時も登園を控えていただくなど、無理な願いをして心苦しく思っています。手洗い、換気、密を防ぐ、給食時の黙食、午睡時の頭を交互にするなど、子どもたちにはかわいそうと思うところもありますが自覚をし、守ってくれています。今までとすっかり環境が変わってしまった園生活の中で、今年度も終わります。何度となく休園を伝え、ご心配をおかけしました。お仕事先での大変さもあったのではないかと思います。それでも私たち職員に温かい励ましのお言葉をかけてくださり、とても嬉しく思いました。園長として行き届かないところも多々あったと思いますが、いつも身近で力を貸してくださり、感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

3月の行事

3日（木）バイキング（3歳児うさぎ組・4歳児きりん組・5歳児ぞう組 各クラスにて）

9日（水）おはなし会

10日（木）英語であそぼう 避難訓練

14日（月）乳児誕生会

15日（火）幼児誕生会



16日（水）お別れ会

17日（木）英語であそぼう

23日（水）バイキング（3歳児うさぎ組・4歳児きりん組・5歳児ぞう組 各クラスにて）

26日（土）卒園を祝う会

【お知らせ】

毎年、この時期に保護者の皆さまには『保育園現況調査』のご回答をお願いしておりますが、今年度は、第三者評価にご協力をいただきましたので、こちらを代わりとさせていただきます。来年度も、保育園に対して、お気づきのことやご要望等ありましたら、いつでも担任、園長宛にお話しください。どうぞよろしくお願いいたします。

看護師のおはなし

まだまだ寒さが残っていますが、日差しはだんだんと春らしくなってきました。

2021年度も早いもので最後の一か月となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きい一年でした。

1月に適用開始となった「まん延防止等重点措置」は、3月6日まで延長されています。その状況下でも新型コロナウイルス感染者数はいまだ高止まりの状態が続きます。4月からの新年度も、新型コロナウイルス感染症の動向に注意し、感染予防対策が求められます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ひよこぐみ



風の心地よさを感じたり、上を見上げて空の青さや雲の形をおもしろいと感じたりすることがあるでしょう。温かい日差しの日には、散歩に出かけています。お散歩カーに乗ったり、保育士と手をつないだり嬉しそうに手を振って事務所の前の道を通り過ぎます。歩いていく子も一歩一歩がしっかりとした足取りになりました。河川敷で鳩の多さに怖がり泣く子がいたので、慌てて帰ってきた日もありました。保育園から一歩出た外の世界は子どもたちにとっては未知の世界。鳩に驚くこともあれば、小さな草花に触れることも。。。これからも成長過程の中で身近に感じてほしいです。

うさぎぐみ



『おはようございます』と声をかけると、とても元気な声で『おはようございます』と応えてくれる子どもたち。あちこちとおもちゃが広がり、好きな遊びを楽しんでいます。覚えていますか？進級当初のおひさまよりで、散歩が心配と書いていたこと(笑)。。。このごろは遠くの公園までうさぎ組だけで遊びに行けるようになりました。元気に『ただいま〜』と帰ってきます。いろいろなことを経験することで、できることがたくさん増えました。子どもたちの表情からも読み取れます。

あひるぐみ



広い保育室なので、園児が使いやすいように保育士は、何度となくコーナーづくりをしてきました。そのたびに私は、保育士たちの子どもに向き合う姿勢の成長を感じました。子どもたちからいろいろ学び、それを自分の力に変えていく。子どもたちの力は保育士を育てています。私も保育士時代、園児と保護者に育てられたと思っています。

そんな保育士に守られて、あひる組はこの一年でたくさんの成長を見せてくれました。来年こそは全員が私のことを『えんちょうせんせい』と呼んでくれることを楽しみにしています。(笑)

きりんぐみ



先日のなかよし会では、お店屋さんになりきってとても楽しそうに遊んでいました。お店で売る食品作りも楽しい時間だったようです。『これ何?』と聞くと、『〇〇だよ』と教えてくれました。今までの行事で協力する楽しさや達成感を経験してきているので、そうした気持ちが自信になり、積極的に楽しむ行動に現れているのかもしれない。そんな姿を見て、4月から生麦保育園の年長さんになるんだな〜と思い、他のクラスのみんなを引っ張っていける子どもたちになれると確信が持てました。今はぞう組の卒園を祝う会の装飾づくりに励んでいます。

りすぐみ



ホームページに掲載用の写真を見ると、友だちと交わる楽しさが自然と表情に表れ、遊ぶ楽しさや関わる楽しさが写真から読み取ることができ、ほっこりと癒されています。保育士が提案した遊びでなく、自然発生的にその場面が生まれ、遊びが展開されています。その場に集まってくる子どもたちの自主性や協同性に子ども本来の成長を感じます。4月からはいよいようさぎ組ですね。幼児クラスの生活や行事を楽しんでほしいです。

ぞうぐみ



4年ぶり(?)の都会での大雪に、子どもたちは大喜び。朝から『いつそとにでるの?』と担任に聞いていました。『ぞう組が外に出る時、園長先生に教えてね』と伝えておくと、数人の子どもたちが『いまからおにわいくよ』と迎えにきてくれました。雪合戦はなぜか園長 VS 子どもたちとなり、担任に助っ人を求めると、『ビデオ撮ってから〜』との返答。私一人で奮闘しました。担任も参加し一息つくくと、今度はきりん組が。。。雪を持って待ち構えていました(笑)朝の雪かきも重なり、えらく体が筋肉痛になってしまいましたが、卒園前のぞう組との楽しい思い出になりました。

ぞう組の姿を見て、きりん組は憧れ、しっかりその行動や気持ちを受け継いでいくのだと思います。ぞう組はしっかりその足跡を、保育士や他のクラスに残してくれました。ありがとう。

